

質問順位	13	質問者	館内孝夫議員		
件名	項目	要旨		メ	モ
1. 市民行政	1. エイズウイルス（HIV）の周知について	1. エイズウイルス（HIV）感染は、かつては不治の病と言われ「エイズパニック」と呼ばれてから30年が経過します。当時は雑誌や新聞等で取り上げられ、国民全体に不安が広がったという記憶があります。しかし、現在は医学の進歩により、治療で症状をコントロールすることで、HIVに感染していない人と変わらない生活を送ることができます。しかし、いまだにHIV感染者やエイズ発症患者に対する誤解と偏見があります。本市では、誤解と偏見がある状態を見逃すことはないと思われませんが、今後、市民に対してどのような周知を行うのか伺う。			
	2. 高齢者サークル活動について	1. 各地区のコミュニティセンターで高齢者向けの自主サークル運営がされているが、何団体あるのか。 また、高齢者福祉の観点から、自主的に継続されているサークル活動の経費（例えば会場使用料金の一部）に対し補助するような仕組みがあっても良いと思うが考えを伺う。			